

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社

コード番号 4182 URL <http://www.mgc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 大久保 知彦

TEL 03-3283-5041

四半期報告書提出予定日 平成21年11月9日

配当支払開始予定日

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	180,770	△32.8	△1,101	—	△2,592	—	△2,433	—
21年3月期第2四半期	269,204	—	9,620	—	19,951	—	14,565	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△5.38	—
21年3月期第2四半期	31.52	30.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	536,590	275,262	49.7	590.44
21年3月期	530,592	272,083	49.9	585.90

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 266,905百万円 21年3月期 264,861百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	△12.9	1,000	—	2,000	△71.3	1,000	△85.7	2.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規1社(社名:菱優工程塑料(上海)有限公司)

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 483,478,398株 21年3月期 483,478,398株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 31,433,198株 21年3月期 31,420,297株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 452,049,522株 21年3月期第2四半期 462,066,257株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年8月3日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,000	△11.3	△8,000	—	△2,500	—	1,000	△92.1	2.21

*当四半期において、通期の個別業績予想を修正しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)のわが国経済は、昨年度後半に急激に悪化した後、日本を含む各国の景気刺激策の効果等により、一部で回復の兆しが見られましたが、全般的には厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境は、昨年度後半の商品市況の急落や需要の大幅な減少に対し、半導体・液晶向け製品の一部に顕著な需要の回復が見られたものの、総じて需要は低調に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループは当期より新たに中期経営計画「MGC Will 2011」をスタートさせるとともに、収益状況を改善するため、販売数量の拡大やコスト削減などに向けて努めてまいりました。

しかしながら、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,807億円(前年同期比 884億円減(32.8%減))、営業損失11億円(前年同期比 107億円悪化)、経常損失25億円(前年同期比225億円悪化)、四半期純損失24億円(前年同期比169億円悪化)となりました。

〔天然ガス系化学品〕

メタノールは、来年の新規プラント稼動に備えたプレマーケティングの推進により販売数量は増加したものの、昨年末に急落した市況は当上半期も低水準で推移した結果、大幅な減収となりました。海外メタノール生産会社の持分法利益も大幅な減益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、国内外の需要低迷による販売数量の減少のほか、アンモニア装置の長期停止の影響もあり、前年同期を大きく下回る結果となりました。

酵素・補酵素類は、コエンザイムQ10の国内販売数量の増加により、前年同期をやや上回りました。

天然ガスその他のエネルギー販売は、原油の販売価格が、エネルギー価格の高騰を反映していた前年同期の価格を大きく下回ったことなどから、大幅な減益となりました。

以上の結果、売上高は528億円(前年同期比 304億円減(36.5%減))、営業損失は41億円(前年同期比 50億円悪化)となりました。

〔芳香族化学品〕

特殊芳香族化学品は、メタキシレンジアミン、MXナイロン、芳香族アルデヒドなどにおいて、需要が低迷したことに加え、ユーザーの在庫調整が予想以上に長引いた影響もあり、販売数量が大きく減少したことから、大幅な減収減益となりました。

高純度イソフタル酸は、需要低迷による販売数量の減少に加え前期から続く厳しい競争によるマージンの悪化などから、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は435億円(前年同期比 348億円減(44.5%減))、営業損失は33億円(前年同期比 48億円悪化)となりました。

〔機能化学品〕

工業用無機薬品類は、紙パルプ向けを始めとする需要の低迷により過酸化水素の販売数量が減少したことなどから減収となりましたが、販売価格の是正効果もあり損益は前年同期並みとなりました。

電子工業用薬品類は、半導体・液晶向けともに販売数量が減少し、海外子会社を含め、減収減益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、ポリカーボネート、ポリアセタールは、自動車向けを始めとする需要の不振で減収減益となりました。一方、ポリカーボネートシート・フィルムはフラットパネルディスプレイ向けフィルムの需要が好調で大幅な増益となりました。

以上の結果、売上高は544億円(前年同期比 168億円減(23.6%減))、営業利益は33億円(前年同期比 2億円増(7.5%増))となりました。

〔特殊機能材〕

プリント配線板用材料は、当期に入り半導体パッケージ向け需要の回復が見られましたが、前年同期をやや下回る水準にとどまった結果、減収減益となりました。プリント配線板用小径孔空け補助材料LEシートも需要低迷により減収減益となりました。

「エージェレス®」等の脱酸素剤は、主力の国内食品分野の競争が激しく、前年同期をやや下回る収益となりました。

以上の結果、売上高は295億円(前年同期比 60億円減(17.1%減))、営業利益は27億円(前年同期比 14億円減(34.3%減))となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したものの、投資有価証券が増加したことから、前連結会計年度末比59億円増加の5,365億円となりました。負債は、買掛債務の増加などにより28億円増加の2,613億円、純資産は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の改善により31億円増加の2,752億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間の業績は、フラットパネルディスプレイ向けポリカーボネートフィルムなどが好調に推移し、平成21年8月3日発表の業績予想を上回りました。

通期業績予想については、第1四半期決算の発表時点では見直しを見送っておりましたが、第2四半期累計期間の実績に加え、第3四半期以降、天然ガス系化学品や特殊芳香族化学品などが当初予想を下回る見通しであり、またプリント配線板用材料が不要期に入ることも見込まれることなどから、平成21年5月8日に発表した通期業績予想を修正いたします。

なお、今回業績予想と平成21年5月8日に発表しました通期における連結及び個別の業績予想との差異は、下記のとおりです。

(1) 平成22年3月期通期の連結業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月8日発表)	380,000	8,000	7,000	6,000
今回修正発表(B)	390,000	1,000	2,000	1,000
増減額(B-A)	10,000	△7,000	△5,000	△5,000
増減率	2.6	△87.5	△71.4	△83.3
前期実績	447,647	△3,103	6,975	7,014

(2) 平成22年3月期通期の個別業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月8日発表)	265,000	1,000	6,000	7,000
今回修正発表(B)	275,000	△8,000	△2,500	1,000
増減額(B-A)	10,000	△9,000	△8,500	△6,000
増減率	3.8	—	—	△85.7
前期実績	310,017	△3,112	12,695	12,686

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第2四半期連結会計期間より、菱優工程塑料（上海）有限公司を新規設立のため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法によっております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変動が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

④固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,648	23,209
受取手形及び売掛金	93,075	74,549
有価証券	21,944	30,845
商品及び製品	35,496	38,599
仕掛品	7,578	8,386
原材料及び貯蔵品	19,477	18,351
その他	14,507	21,942
貸倒引当金	△637	△585
流動資産合計	212,090	215,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,761	46,662
機械装置及び運搬具(純額)	71,796	71,495
その他(純額)	48,148	48,489
有形固定資産合計	166,705	166,647
無形固定資産		
その他	3,379	2,881
無形固定資産合計	3,379	2,881
投資その他の資産		
投資有価証券	129,614	121,540
その他	26,447	25,805
貸倒引当金	△1,647	△1,580
投資その他の資産合計	154,413	145,765
固定資産合計	324,499	315,293
資産合計	536,590	530,592

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,392	40,301
短期借入金	82,511	86,974
未払法人税等	2,047	361
引当金	3,765	3,786
その他	26,151	29,663
流動負債合計	164,867	161,088
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	67,510	67,604
引当金	6,350	6,266
その他	2,599	3,549
固定負債合計	96,460	97,421
負債合計	261,327	258,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,590	35,589
利益剰余金	215,941	221,990
自己株式	△7,899	△7,891
株主資本合計	285,602	291,658
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	960	△3,330
繰延ヘッジ損益	29	29
土地再評価差額金	192	192
為替換算調整勘定	△19,879	△23,688
評価・換算差額等合計	△18,696	△26,797
少数株主持分	8,357	7,222
純資産合計	275,262	272,083
負債純資産合計	536,590	530,592

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	269,204	180,770
売上原価	230,943	156,272
売上総利益	38,260	24,498
販売費及び一般管理費	28,640	25,600
営業利益又は営業損失(△)	9,620	△1,101
営業外収益		
受取利息	172	109
受取配当金	839	745
持分法による投資利益	10,828	2,475
その他	1,396	865
営業外収益合計	13,237	4,195
営業外費用		
支払利息	1,096	1,139
為替差損	—	1,622
出向者労務費差額負担	665	922
その他	1,143	2,001
営業外費用合計	2,905	5,686
経常利益又は経常損失(△)	19,951	△2,592
特別利益		
固定資産売却益	—	183
特別利益合計	—	183
特別損失		
減損損失	—	518
貸倒損失	—	364
事業撤退損	—	286
貸倒引当金繰入額	1,092	—
持分変動損失	10	—
特別損失合計	1,103	1,169
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,848	△3,579
法人税等	3,735	△1,352
少数株主利益	548	207
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,565	△2,433

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,848	△3,579
減価償却費	13,486	13,689
固定資産処分損益(△は益)	194	△42
のれん償却額	83	△14
減損損失	—	518
持分法による投資損益(△は益)	△10,828	△2,475
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,114	118
退職給付引当金の増減額(△は減少)	37	232
受取利息及び受取配当金	△1,012	△854
支払利息	1,096	1,139
持分変動損益(△は益)	10	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,741	△19,193
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,081	3,147
仕入債務の増減額(△は減少)	3,609	10,432
未払消費税等の増減額(△は減少)	△101	286
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△97	△119
その他	75	△347
小計	22,177	2,938
利息及び配当金の受取額	1,013	863
持分法適用会社からの配当金の受取額	6,776	4,326
利息の支払額	△1,103	△1,177
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,806	5,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,056	12,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△9	△479
有価証券の売却による収入	111	440
固定資産の取得による支出	△20,773	△15,469
固定資産の売却による収入	884	496
投資有価証券の取得による支出	△1,126	△961
投資有価証券の売却による収入	—	35
その他	△91	262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,006	△15,674

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,255	△1,452
長期借入れによる収入	9,311	2,469
長期借入金の返済による支出	△8,288	△5,920
自己株式の取得による支出	△35	△8
配当金の支払額	△3,696	△3,616
少数株主への配当金の支払額	△312	△217
その他	33	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,732	△8,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△595	32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△277	△12,381
現金及び現金同等物の期首残高	37,235	53,065
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117	814
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,075	41,498

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	天然ガス系化学 品 (百万円)	芳香族化学 品 (百万円)	機能化学 品 (百万円)	特殊機能材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	83,305	78,391	71,337	35,648	521	269,204	—	269,204
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,676	874	1,233	10	115	6,910	△6,910	—
計	87,982	79,266	72,570	35,658	636	276,114	△6,910	269,204
営業利益	866	1,531	3,074	4,220	341	10,032	△412	9,620

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	天然ガス系化学 品 (百万円)	芳香族化学 品 (百万円)	機能化学 品 (百万円)	特殊機能材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	52,866	43,528	54,471	29,556	347	180,770	—	180,770
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,263	590	898	4	103	3,861	△3,861	—
計	55,129	44,119	55,370	29,561	451	184,632	△3,861	180,770
営業利益又は営業損失(△)	△4,163	△3,338	3,303	2,773	220	△1,204	102	△1,101

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、事業の種類類似性を考慮し、「天然ガス系化学品」、「芳香族化学品」、「機能化学品」、「特殊機能材」及び「その他」に区分しております。

「天然ガス系化学品」主要製品名：メタノール、アンモニア、アミン系製品、メタクリル酸系製品、多価アルコール類、酵素・補酵素類、天然ガス・原油

「芳香族化学品」主要製品名：キシレン異性体及びその誘導品

「機能化学品」主要製品名：過酸化水素等工業用無機薬品類、電子工業用薬品類、エンジニアリングプラスチック

「特殊機能材」主要製品名：プリント配線板用材料、プリント配線板、脱酸素剤「エージレス®」

「その他」主要製品名：不動産業他

2. 会計処理の方法の変更

(前第2四半期連結累計期間)

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、天然ガス系化学品が203百万円、芳香族化学品が170百万円、機能化学品が598百万円、特殊機能材が201百万円減少しております。

3. 追加情報

(前第2四半期連結累計期間)

第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社は、機械装置の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、天然ガス系化学品が37百万円、機能化学品が99百万円、特殊機能材が200百万円減少しており、芳香族化学品が117百万円増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	226,263	42,940	269,204	—	269,204
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	20,877	3,224	24,101	△24,101	—
計	247,140	46,165	293,306	△24,101	269,204
営業利益	8,154	1,634	9,789	△169	9,620

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	156,287	15,491	8,991	180,770	—	180,770
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13,577	690	58	14,326	△14,326	—
計	169,865	16,182	9,049	195,097	△14,326	180,770
営業利益又は営業損失(△)	△2,548	868	328	△1,350	249	△1,101

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア・・・韓国、中国、台湾、シンガポール、タイ、インドネシア

その他の地域・・・米国

3. 会計処理の方法の変更

(前第2四半期連結累計期間)

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、日本で1,173百万円減少しております。

4. 追加情報

(前第2四半期連結累計期間)

第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社は、機械装置の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、日本で220百万円減少しております。

5. 従来、日本以外の区分に属する地域については、「その他の地域」と表示しておりましたが、前年度第3四半期において「アジア」の売上高が全体の10%以上となりましたので、「アジア」を区分して表示するように変更いたしました。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の地域区分の方法により区分すると、次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	226,263	23,801	19,138	269,204	—	269,204
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,877	2,508	716	24,101	△24,101	—
計	247,140	26,310	19,855	293,306	△24,101	269,204
営業利益	8,154	1,612	22	9,789	△169	9,620

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	アジア	北米・南米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	69,573	21,164	6,392	97,130
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	269,204
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	25.8	7.9	2.4	36.1

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	アジア	北米・南米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	64,067	12,662	3,172	79,903
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	180,770
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	35.4	7.0	1.8	44.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主要な国又は地域

(a) アジア : タイ、マレーシア、インド、インドネシア、韓国、中国、台湾、シンガポール

(b) 北米・南米 : 米国、メキシコ、ブラジル

(c) その他の地域 : ヨーロッパ、オセアニア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

当社が東京都大田区で過去一時的に所有していた土地におけるダイオキシン類による土壌汚染に関して、東京都より当社を汚染原因者として公害防止事業費負担を求める行政処分がなされましたが、当社は当該行政処分の取り消しを求めて現在係争中であります。なお、平成20年8月の東京高等裁判所の判決では当社請求が棄却されたことから、当社は最高裁判所に上告いたしました。

東京都に支払いました公害防止事業費につきましては、必要額を引き当てております。